

令和4年度

施設関係者評価表

社会福祉法人 博乃会

認定こども園 日吉台保育園

令和4年度 自己評価結果公表シート

社会福祉法人 博乃会 認定こども園 日吉台保育園

1、本園の教育目標

丈夫な体とたくましい心を養うため、年間を通じての運動指導と絵画指導に力を注ぎ、元気で明るくのびのびとした子どもを育てることが第一の目標です。

幼児期における集団生活の中で、素直で思いやりのある子どもに育ち、また絵本やお話に親しみをもって、愛情豊かな人間性を培うことに努めております。

そして、しつけ教育にも力を入れ、礼儀正しく、けじめのある子どもの育成にも力を入れており、子ども一人ひとりのよさを認め、励まし・褒める教育を目指しております。

基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉使い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等) 特にお話しを聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活で必要な協調性を養う。

◇何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと満足感が自信になり、それがさらに積極的で明るい性格に育つように導く。

◇体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、幼児の未知なる可能性と伸び伸びした豊かな心を育む。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

感染症を考慮しつつ、行事等を進行できるよう話し合いを設けていく。

また、教職員の教育の質を高め、子どもたちにより良い教育を提供できるよう積極的に園内研修や外部の研修に取り組む。(※園外は、新型コロナウイルス感染症が収まり次第)

◇教育の資質向上への取り組み

☆全職員間で各園児の指導の課題点を話し合う機会を増やすと共に、積極的に研修に参加して保育技術向上を目指す。

◇発達上、家庭上の問題のある園児への対応

☆個々が抱える問題について教職員間で情報を共有するとともに家庭や専門連携機関と連絡を取り合い対応する。

◇施設環境の向上

☆看護師と協力し、園内や玩具等の消毒を実施。

遊具の点検をしっかりと行い安全で清潔な環境を整えていく。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	幼稚園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに答える必要があるか、具体的に検討を始めている。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	幼児の発達の姿をとらえるための研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員会でもつようにし、自由闊達に意見が開示できるよう環境をつくっている。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者との懇談会を定期的実施する。出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組みつつある。
教職員の指導能力向上	<p>各種研修会に参加し、学んだことを全職員または各学年で共有することで、専門分野への知識の向上に努めている。</p> <p>年間を通じて専門の先生に指導を受けることで技術向上をはかる。</p> <p>毎日の職員会で日々の子どもの姿、又は保護者からの意見・要望について、報告・連絡・相談の場を設けて情報を全員が共有する環境を作っている。</p> <p>各グループでの打ち合わせを頻繁に行い、全クラス担任があらゆる情報を共有するようにしている。</p>
権限委譲と人材の育成	<p>各分野別に担当を決め、経験がある先生と若い先生がチームを組み、基本的な仕組みや流れを知り、そこから自分で考え工夫するシステムを採用している。</p> <p>その中で適材適所に合わせて各人の得意分野を引き出し、存在意義・責任感を持つようにしている。</p>
園児に接する時の基本姿勢を周知徹底	<p>特に、言葉使いの適正を意識し、親切かつ丁寧な接し方を再確認の上、是正に努める必要がある。</p> <p>一人ひとりの子どもの長所を認め、教諭が公平かつ客観的に園児を見る目を養うように努める。</p>
保育終了後の延長保育	子育て真最中の保護者にとっては、育児・家事・就労を連立させることは大きな壁であり、大きな負担ともなっているため、現代社会において求められる幼稚園の役割を担える幅を拡大する。

食育に関する実践	<p>毎食時にメニューについての説明を行い、知識を深めながら食事をとっている。</p> <p>旬の食材を生かし、年中行事に応じた季節感を感じることができるよう献立を工夫している。</p> <p>家庭に対し、献立のみではなく健康や栄養情報の知識や食事作りのアドバイスを実施し連携を取っている。</p> <p>食育だより、給食写真の掲示を食育に関心をもってもらう工夫をしている。</p>
幼稚園の情報を発信	園の教育方針や取り組み状況をホームページや園だより、その他のプリントで情報発信している。
園舎・園庭などの環境整備	子どもたちが動物、植物に興味を示すように花壇の整備を行っている。 遮光ネット、テントを設置し、子どもの過ごしやすい環境を整えている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全職員の研修等で意見交換の出来る場を設け、その課題について職員全員で理解をし、取組状況を話し合う事で、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることが出来た。

教職員各自が教育の資質向上に取り組み、時には主任および学年主任の指導を受けながら、それぞれの得意分野で充実した保育ができていた。

専門の先生に指導を受ける事で担任の指導に幅が出来てきた。又、子ども達の保育に取り組む姿勢や発言、行動力から意欲的に取り組んでいる様子がうかがえた。

熱中症など暑さ対策として園庭へのテントの設置や日影を作り健康かつ安全に運動が出来るようになった。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	カウンセラーにクラスを巡回してもらい、保護者の気持ちに寄り添い、教育委員会や小学校との連携を取っていく。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。
安全管理	<p>幼稚園施設設備指針第8章(防犯計画)に基づき、ハード・ソフト両面から適切な防犯体制を整えている。</p> <p>消防法第8条(防火管理者)により、防火管理者を定めて防火管理を行っている。</p> <p>危機管理研修を行い、想定できる危険に対して万全の態勢をとれるように</p>

	<p>準備をしている。</p> <p>幼稚園施設設備指針をふまえ、安全管理・衛生管理に努めている。</p> <p>遊具の点検及び園舎・園庭などに危険な個所がないか日ごろから管理に努めている。(定期的に点検記録をつけて管理していく)</p> <p>消防署の指導も受けながら避難訓練の内容充実を図る。</p>
自然災害時の危機管理体制の構築	<p>非常時の危機管理について、子どもの引き渡し方法を含めた災害対応マニュアルを定期的に教職員間で確認を行う。</p> <p>常に最新のニュースや気象情報を得られるような環境づくりを実施。</p> <p>※暑さ指数やPM2.5などの情報も考慮し保育を行う。</p> <p>定期的な避難訓練と共に、災害時の食料や水、薬品類の備蓄などにも留意する。</p>
保護者への情報提供とより正確な要望把握	<p>保護者との個人懇談をとおして一層の情報収集を充実していくとともに、行事等については役員会で意見聴取をする。</p> <p>出された意見に対しては十分検討し、必要なものについては園の考え方を示し説明を加えて理解を得られるよう最大の努力を重ねる。改善すべきところは、的確かつ迅速に修正する。</p> <p>当園の教育方針に則しつつも、子育て中の保護者が期待するところを把握し、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。</p>
特別支援教育の充実	<p>入園時の子どもの発達や保護者の意識を踏まえて、教育課程の内容に基づき、発達障害やグレーゾーンの子どもを含め、一人ひとりの発達や成長にあわせた指導計画を作成し、集団生活へのスムーズな移行を図る。</p> <p>支援を要する子ども達へのアプローチについて、専門家の話を聞くなど、今後も継続的に研修内容を保育に生かす努力をする。</p> <p>発達障害に対する正しい知識を習得するとともに、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高める。</p>

1. 学校関係者の評価

全職員は学年ごとに保育案を計画し実践しているうえ、反省、改善を加えて見直しを繰り返している。常により良い環境を整え、多くの経験の場を与えられるように継続して努力しているところが賛同できる。

また、未だ続いている新型コロナウイルス感染症という対処が難しいウイルスに関しても最善の対処、予防を心掛けつつ行事面での検討を行い、できる範囲で実施しており、保護者と子どもに安心安全を第一に、また気持ちに寄り添った保育を行っていることがよくわかる。

今後子どもたちの成長、保護者との信頼関係を考え、今以上の保育の向上に努めてほしい。